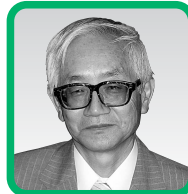


「ありがとう日本一」の達成はいつか

石川 正 議員



【問】平成22年施政方針で「ありがとう日本一」とあるが、このための具体策は。

【町長】行政もサービス業と認識している。わが町には、人・金・物の内、人つまり人材しかない。

「ありがとう日本一」の活動を通じ町民からの評価を向上させたい。「いつも笑顔で挨拶」「積極的に親切を」等、5つの行動基準を定め実施している。

【問】指標は何か。

【町長】難しいが、住民の評価である。接客の苦情は減少している。

【問】日本一の達成時期はいつなのか。

【町長】次の枠組みを検討するまでに達成したい。

消防団の見直しを

【問】消防団員の町内外勤務者人数は。

【総務部長】団員173人、町内外勤務の内訳は把握していない。町外勤務は多

いと認識している。

【問】団員は、条例で18歳50歳である。町消防団は警備など後方支援がおもな仕事。即応体制も含め、高齢者をもっと活用したらどうか。

【総務部長】団員は、19歳33歳で構成。他市町も参考に、消防OBなど高齢者の活用を考えたい。

【問】消防詰所、火の見櫓の老朽化対策は。

【総務部長】特に火の見櫓は和合・祐福寺地区にあるが、役目は薄れている。施設点検はしっかりとやるが、撤去を考える。

【問】応援協定区域とは。

【総務部長】県下全域である。



消防団詰所の火の見櫓

事業の効果検証を！ 緊急度優先度に熟慮を！

水川 淳 議員



【問】健康づくりの拠点として見直された、いこまい館。「健康」の効果はあがっているか。

【健康部長】大変難しい質問である。各種検診や教室の開催などを行っており、全体的に捉えて欲しい。医療費抑制も長期的視野で見てもらいたい。

【問】子育て支援手当の効果として、出生数と2人以上扶養する世帯の転入数は増えているか。年度毎推移は。

【福祉部長】19年度から順に、出生数は68人、67人、今年度は1月までで42人。転入数は、157件、124件、今年度は2月11日現在で62件である。

【問】ウォーキングロードを22年度に整備するというが、緊急度・優先度の説明を。

【経済建設部長】40周年で大会を予定している。また一過性の事業では

なく、健康づくりの一助として実施する。

地方自治制度における 本町の立場・位置づけ

【問】全国の9割以上の自治体が交付団体となる財政力指数の算定基準はおかしい。不利益を受ける本町発信で、制度見直しを強く訴えるべき。

【総務部長】市町村長会などを通じ訴えているが、仲間も少なく難しい。

【問】4万人は市と同水準である。市と町村の枠組み見直しの発信を。

【町長】4万人規模を市と同格と考えるのは勝手だが、国・県に発信するのはいかなものか。

